

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 中央化学株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 365-8603 埼玉県鴻巣市宮地 3 丁目 5 番 1 号
----	-------------------------	----	--

本票作成	部署名：岡山工場 生産技術課
------	----------------

主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）
-------	-------	----	------------------------

事業の概要	プラスチック食品容器製造
-------	--------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	美作市北山 3 2 1
	②	西日本ハブセンター	美作市竹田 1 4 5 - 2 5

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 27 年度)	(令和 2) 年度排出量	目標年度 (令和 2 年度)
	12,059 t CO ₂	5,395 t CO ₂	11,456 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2) 年度排出量
	①	岡山工場	5,313 t CO ₂
	②	西日本ハブセンター	82 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 28 年度	～	令和 2 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	48.2 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2) 年度	目標年度
		498 kg CO ₂ /(t)	258 kg CO ₂ /(t)	473 kg CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・岡山工場において、関西電力から電気を購入することにより、大幅に排出量を削減できた。
- ・弊社独自の「A c t - 8」活動により、押出課及び成型課の生産性は向上した。
- ・省エネ対策の設備投資も概ね完了し、電力原単位は昨年と比べ、1.4%ほど改善し、省エネ活動としての成果は、上がっている。
- ・小ロット生産、連続操業体制などの生産体制による電力量増加と、その生産体制の影響による空調・照明などの固定的な電力量は、あまり削減できなかった。
- ・西日本ハブセンターについては、照明LED化により、平成27年度比で32%削減できた。

【推進体制】

ISO14001 認証取得済み

生産技術課において、環境目的に動力の電力原単位改善を取り上げ、コンプレッサー及び真空ポンプの省電力を進めている。
 省エネ委員会を月1回開催し、工場全体で省エネ活動を推進している。
 全社的に実施している「Act-8」活動により、生産性を向上するとともに、ムダを無くして電力原単位改善を図り、その結果として、CO2排出量削減を目指す。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(令和2年度実施分) 蛍光灯器具のLEDへの更新 737台 インバーター式真空ポンプ導入 第1成型空調設備省エネタイプへの更新 X08温水器更新 (令和3年度実施予定分) アモルファストランス導入 3台 押出乾燥機更新 成型機サーボモーター更新 3台分 構内照明のLED化 蛍光灯器具160台 水銀灯26台 押出機EDモーター導入 3台

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

岡山工場	岡山県ゼロエミッション事業所認定	
全社	第3次環境負荷低減5ヵ年計画実施中（2017年～2021年） エネルギー使用量の削減・製品別CO2排出量算定システムの構築と改善 社内廃棄物の削減・使用済み食品トレーのリサイクル 環境配慮型製品の提供・環境負荷の少ない素材への移行・製品の軽量化 グリーン購入の推進・ハイブリットカー導入 環境コミュニケーション・社会貢献の推進	